

[ローラースケート] 全日本学生

男子総合優勝

全日本学生ローラースケート選手権が、10月6日から8日まで、長野県岡谷市で行われ、男子が総合優勝、女子が総合準優勝に輝いた。

【男子】スピード部門では、300メートルで藤木慶（文4・石巻高）、1500メートルで大久保和哉（文2・橋本高）、5000メートルで内田康博（経営2・大宮北高）が優勝、1600メートルリレーも制してスピード総合で見事優勝を飾った。ホッケー部門でも最優秀選手賞を受賞した小林春樹（経営4・長野西高）、最優秀GK賞の市村基裕（文3・岩村田高）を中心に優勝を果たした。



▲好成績を挙げ、たくさんのトロフィーを手にしたローラースケート部員

男子主将の小林春樹は「優勝の瞬間はホッとしたという感じだったが、喜ぶ部員の顔を見て実感がわきました。4年間の練習が形になってうれしい。後輩たちには慢心せず、今後も練習に励んでほしい」と語った。

【女子】ホッケー部門では振るわなかったものの、スピード部門では1600メートルリレーで優勝するなど健闘し部門準優勝、総合でも準優勝となった。

（田口 能成・経済2）

[馬術] 全日本学生

3種目総合で3位

馬場馬術は石澤が3位入賞

障害飛越・馬場馬術・総合馬術(調教・耐久・余力)の3競技で争われる全日本学生馬術競技大会が11月2日から5日まで、JRA馬事公苑で行われた。障害飛越で4位、馬場馬術で6位だったものの、総合馬術では3位と健闘し、結果3種目総合で3位となった。

富沢健悟監督は「耐久で去年よりもレベルアップした部分を見せたが、それを余力につなげることが出来なかった」と語った。個人では、石澤崇幸(経営4・帝京第三高)・ダーククリスタル号が馬場馬術で3位、西山慶太主将(商4・玉野高)が馬場馬術・総合馬術で4位となった。

また、10月21、22日に行われたオリンピック記念馬術大会では、ラロ号記念障害飛越競技で沼尻孝夫(経営4・取手松陽高)・ロッキンジー号が優勝に輝き、西山主将・ウイニングエッジ号も準優勝を果たした。



▲馬場馬術、総合馬術で4位となり、チームを牽引した西山主将

(加藤 未希・文2)

[剣道] 全日本学生

ベスト8進出 敢闘賞を獲得

64校が出場し、大学日本一を決める全日本学生剣道優勝大会が10月29日、大阪府立体育会館で行われ、専大はベスト8進出を果たし、敢闘賞を受賞した。

1回戦で中京大に3—1と快勝し、2回戦も東海大に3—2で勝利。続く3回戦の相手は今季関東学生優勝大会で専大と同じく3位に輝いた強豪・早稲田大。3—3で代表戦までもつれたが勝利を収め、ベスト8進出を決めた。準々決勝の国際武道大も3—3と拮抗した展開となったが、代表戦で惜敗し、ベスト4進出はならなかった。関東学生優勝大会、そして今大会と団体戦での奮闘が目立つ剣道部。強豪の座を奪回する時が目前に迫っている。

(松原 弘和・法1)

[レスリング] 全日本グレコ

60kg級で前野準優勝

120kg級荒木田は3位

レスリングの全日本大学グレコローマスタイル選手権が10月12、13の両日、東京都の駒沢体育館で行われ、60kg級で前野健瑠(経済4・霞ヶ浦高)が準優勝を遂げ、120kg級で荒木田進謙(経済1・光星学院高)が3位に入賞した。

昨年は66kg級で5位だった前野。「最後の大会で結果を残せてうれしい」と語った。敗者復活戦から勝ち上がった荒木田は「まだ力が足りないと痛感した」と振り返り、さらなる向上を誓った。

また、84kg級で矢野将章(経済2・広陵高)が、96kg級で野口智行(経済3・向上高)がともに5位となり、大学対抗では6位となった。



前野健瑠

[卓球] 全日本学生

原・江藤組5位

全日本学生卓球選手権大会が10月12日から15日まで、尼崎市記念公園総合体育館で行われ、男子ダブルスで原雅彦(商4・青森山田高)・江藤真吾(経営3・柳川高)組が5位と健闘した。

4回戦で優勝候補の下山・時吉(早大)組を3—1で破り、準々決勝に駒を進めるも、足立・松山組(明大)に0—3で敗れた。

また女子シングルスでは、杉本枝穂(文2・青森山田高)が11位、杉田早苗(商3・四天王寺高)が16位となった。

[自動車] 関東学生対抗軽自動車6耐

31チーム参加、準優勝

10月9日に長野県のスポーツランド信州で関東学生対抗軽自動車6時間耐久レースが行われた。19校31チームが参加するなか、専大は準優勝を果たした。

今大会は切り開かれた山道を6時間、3人のドライバーが交代して走り続けるオフロードレース。速く走ることはもちろん、車を壊さないように走ることに気を付けなければならない、路面状況に対応した走りが要求される。

大原真恵(まさとし)主将(ネット情報3・高遠高)は「スタート直後から車が連なっている状況だったので、横転しないように心がけ、完走を狙っていた。うれしいというより、準優勝出来たことに驚いている」と振り返った。

(荻野 敦子・文2)

[フェンシング] 関東学生

女子エペ団体準優勝

鈴木が女子フルーレ優勝

関東学生フェンシング選手権が10月5日から20日まで、駒沢屋内球技場ほかで行われ、団体では女子エペで準優勝を遂げたほか、男女ともフルーレで3位、男子サーブルで4位となった。

個人では、鈴木彩香(商4・埼玉栄高)が女子フルーレで優勝、舟山紗智(経済4・米沢東高)が同サーブルで準優勝に輝き、全日本大学対抗選手権・全日本個人学生選手権(以下インカレ=11月22日～、京都府大山崎体育館)への出場権を獲得した。

鈴木は「昨年インカレに出られなかった悔しさを胸に1年間努力してきたので、優勝以上にインカレに出場出来ることがうれしい。1試合1試合に全力を出し切りたい」と述べ、舟山も「今大会では迷わず、思い切りやることの大切さを学んだ。学生最後の大会であるインカレで自分の力を出し切りたい」と語った。

(田口 能成・経済2)

[準硬式野球] 東都大学準硬式野球リーグ戦

5勝7敗で3位

東都大学準硬式野球秋季リーグ戦が9月7日から10月20日まで上柚木公園野球場ほかで行われ、5勝7敗で3位となった。

リーグ中盤までは上位をキープしていたが、日大、中大に連敗したことが痛手となった。赤岩一憲主将(経済4・太田市商高)は「悔しい結果ですが、一人ひとりの成長が感じられた」と話し、「守りを鍛えなおし、守り勝つ野球を目指してほしい」と後輩へエールを送った。

田中暁投手(経営1・鳴門工高)が8試合に登板し3完封を含む4勝と気を吐くなど、1、2年次生投手陣の働きが光った今大会。来季の王座奪還に期待が持てる。

(松原 弘和・法1)

[バスケットボール] 関東学生女子リーグ戦

白鷗大破り1部復帰

関東女子学生バスケットボールリーグ戦を順調に勝ち進んだ専大は、入れ替え戦への出場権を得て、10月29日、1部7位の白鷗大と対戦。80—72で勝利し、見事1部に返り咲いた。

リーグ戦は10連勝の後、玉川大に敗れ、2部2位。入れ替え戦も前半、普段の力が出せず苦しんだが、「負けたくない」という強い気持ちを持ち続け、勝利をつかみ取った。

19日からは全日本学生選手権が始まる。目標は「最低ベスト8」と児玉茂監督。「まだまだ成長過程だが、今後の課題は練習と同じようなプレーを落ち着いて出来るようになること」と語った。

(松本 かおり・文1)

関東大学リーグ戦

男子は1部残留

関東大学バスケットボールリーグ戦が、9月9日から10月22日まで、横浜文化体育館ほかで行われた。8位でリーグ戦を終了した専大は、2部リーグ1位の筑波大との入れ替え戦へ。1勝1敗で筑波大に接戦を強いられるも、第3戦を83—61で制し、2勝1敗で一部残留を決めた。

(荻野 敦子・文2)

少林寺拳法部 創部40周年を祝う

11月3日、浅草ビューホテルで少林寺拳法部創部40周年記念式典が挙行された。卒業生ら約200人が集い、模範演武や抽選会などを楽しんだ。

(少林寺拳法部・益満隆行=文2)



リーグ戦途中経過

※11月13日現在

◇アイスホッケー部

▽関東大学リーグ戦=1勝8敗

◇アメリカンフットボール部

▽関東大学リーグ戦Bブロック=3勝3敗

◇サッカー部

▽関東大学リーグ戦=2勝13敗5分

◇ラグビー部

▽関東大学リーグ戦(2部)=4勝2敗

《記録コーナー》

◇アーチェリー部

▽関東学生アーチェリーフロンティアカップ(10月18～20日、駒沢第一球技場)
【団体戦】山本泰志主将(経営4・大宮開成高)、小林有士(経営3・千葉黎明高)、佐伯朋哉(経営1・大宮開成高)組＝準優勝
【個人戦】星瑛人(経営2・千葉黎明高)＝8位

▽全日本ターゲットアーチェリー選手権大会(10月27～29日、山口県山口市南総合センターグラウンド)
【予選】佐伯＝34位※決勝進出ならず

◇スピードスケート部

▽全日本距離別選手権(10月27～29日、長野県Mウエーブ)
【男子3000メートル】今野陽太(経営2・白樺学園高)＝11位、道下雅史(経営2・白樺学園高)＝13位
【男子5000メートル】今野＝16位、道下＝17位

◇相撲部

▽全日本学生選手権(11月4、5日、両国国技館)
【団体戦】2回戦敗退

◇ソフトテニス部

▽関東大学秋季2部リーグ戦(10月28、29日、千葉県白子町)2勝5敗＝4位

◇バレーボール部

▽秋季関東大学2部リーグ戦(9月30日～10月29日、亜細亜大ほか)5勝5敗＝3位

◇フィギュアスケート部

▽東京選手権(10月7～9日、明治神宮外苑スケート場)
【女子】南雲麻実(文2・蒲田女子高)＝11位、小松円(文4・高木学園女子高)＝13位
【男子】山中元人(法4・東山高)＝12位

▽関東学生選手権(10月14、15日、東大和スケートコース)
【団体】2位
【女子】南雲＝6位、小松＝9位
【男子】山中＝12位